

取付け対応商品：AP-141, AP-148

安心・簡単設置の伸縮式つっぱり棒&テレビ取付け用金具セット

『エアーポール』

取付設置方法及び取扱い説明書
(伸縮範囲:2.0m~2.8m/ つっぱり棒耐荷重:50kg)

本説明書は作業工程内で重要な指示が記載されています。
よくお読みの上、取付け設置作業を行って下さい。

このたびは弊社商品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本説明書は、お取り付けのポール本数や金具の種類に応じて複数の取付け方法を記載しています。
適切な箇所をよくお読みのうえお取り付け下さい。
エアースペーサーには鋭利な部分があります。取扱いには十分ご注意ください。
※万一部品等不足があった場合、また不良品だった場合は速やかに販売店までご連絡下さい。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷を負う恐れがある内容を示します。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我をしたり家屋や家財などに損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠

十分に注意する内容を示します。

❗

必ず指示に従って行う内容を示します。

🚫

絶対にしてはいけない内容を示します。

- ⚠ 警告

つっぱり棒の耐荷重は 50kg です。これ以上重い物を掛けたり、故意に強い衝撃を与えないでください。つっぱり棒が外れ、破損や怪我をする恐れがあります。
- ⚠ 警告

この商品は強力に突っ張って取り付けを行います。エアースペーサーを使用しない場合は、天井裏に梁を通っている所、または鉄筋コンクリートなど天井下地のある場所や補強のある場所に取り付けてください。また、エアースペーサーを使用する場合でも場所によっては天井が浮いたり、破損する恐れがありますので十分に注意し取り付けを行ってください。
- 🚫

ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取り付けは、取付け箇所が破損したり、本体が外れる恐れがありますのでおやめください。
- ⚠

取付けは、必ず垂直になるように固定して下さい。
- ❗

火気器具等はそばに取り付けないでください。火災の原因になる恐れがあります。
- ⚠

取付けの際は怪我をしない様十分にお気を付けください。エアースペーサーは鋭利な部分がありますので十分に注意してください。
- 🚫

商品の分解・改造及び部品の改造は絶対にしないでください。
- 📄

畳や絨毯の上に取り付けを行った場合、外した場合に取り付け跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合があります。
- 📄

上記に関しての問題が生じた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。お客様ご自身で安全面等判断し、十分に注意したうえでご利用願います。
- ⚠

エアースペーサーを使用した際の設置穴及び設置跡に関しては、原状復帰（原状回復）の不要を確約する限りではございません。取付ける場所や材質、設置年数、または管理会社の判断によっては原状復帰（原状回復）の必要がある場合がございます。その際の費用等に関しては弊社は一切関与致しません。

各部の名称

天井受盤

バネ

天井受カバー

ポール(大)

ジョイントキャップ

ポール(小)

高さ調整ボルト

床受盤

●ポール設置時に使用する付属品

スパナ

高さ調節ボルト目安テープ
(設置時の目印用テープです)

エアースペーサー
エアーキャップ (天井部取り付け)
特殊面ファスナー (床部取付け・予備あり)
取付け場所・好みにより使用下さい。

※上記エアースペーサー一式は小さな箱に入っております。
箱から取り出す際は怪我をしない様お気をつけて下さい。

アタッチメント取付け時の使用ネジ穴

「ア
タ
ッ
チ
メ
ン
ト
取
付
け
穴」

●目次

表紙 / ポールの設置に関してのご注意 P1

【ポール設置方法】

通常設置 P2

エアースペーサーを使用しての設置 . . . P3

ポール取り外し方法 / 伸縮調整 P4

テレビ取付け金具の設置に関してのご注意 . . . P5

【テレビ取付け金具をポールに設置する方法】

角度固定Lサイズテレビ取付け金具 P6, P7

下向角度Lサイズテレビ取付け金具 P8, P9

ポール設置方法

設置前の注意

取付け手順はしっかりと守ってください。人や物にぶつからない様、周りには十分に注意して取り付け作業を行ってください。

つっぱり棒 2本を使用してテレビを取り付ける場合、1人では困難な作業となりますので2人以上での作業を行ってください。

つっぱり棒 2本を使用しての設置方法の際、本説明書 2 ページ目の『1 本の設置方法』を参考にして作業を行う項目があります。

天井に梁通っている所または鉄筋コンクリートなど天井下地や補強のある場所に取り付けてください。それ以外の場所では、天井が浮いたり破損する恐れがございますので十分に注意し取り付けを行ってください。

ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取り付けは本体が外れたり破損する恐れがありますのでおやめください。

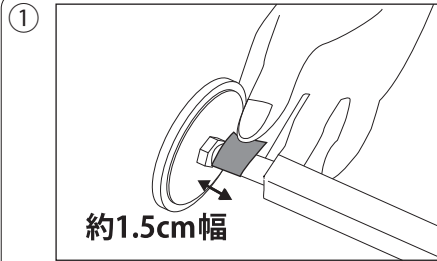
畳や絨毯の上に設置した場合、外した際に設置跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合がございます。

● 使用部品 (2 本分)

部品名	記載番号	イラスト	入数
高さ調節ボルト 目安テープ			4 枚
アタッチメント	aa		2 個
コマ	bb		4 個
アタッチメント 取付用皿ネジ	cc		4 個
スパナ			2 個
回転止め			4 個

● 2 本の間隔を確認する際に使用

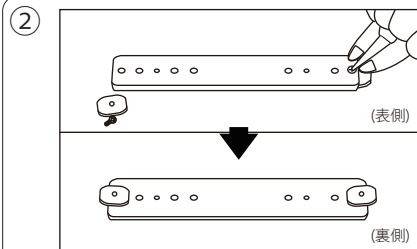
部品名	記載番号	イラスト
141 or 148 ポール側プレート	a	



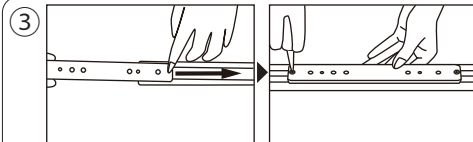
床受盤を回し、高さ調節ボルトの上側の部分を出してください。上図を参考に高さ調節ボルト目安テープを貼り、そのテープが見える程度に出しておいてください。テープは約 1.5cm 幅の部分が高さになるように貼ってください。

最後にこの部分を締めつけて固定をする為、この部分に余裕がないと取外しが困難になる場合があります。

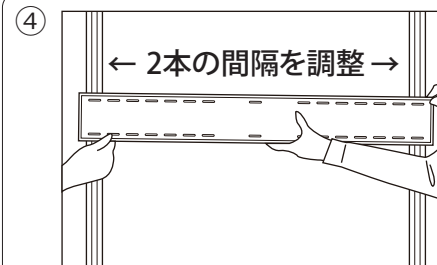
※必ずこの作業を行うようにしてください。



部品 (aa,bb,cc) を使用してアタッチメントにコマを 3 点取り付けてください。その際、アタッチメントの裏表とネジの取付け穴位置に注意して下さい。また、③でポールに取り付ける為コマとアタッチメントの間は隙間を空けてください。



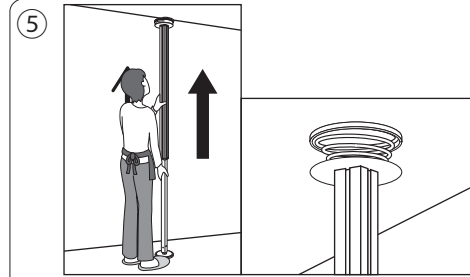
②で取り付けたコマをポール(大)の溝の部分にスライドさせるように入れてください。コマを 3 つとも入れたら、1 本目と同じ高さの位置で仮止めをしてください。



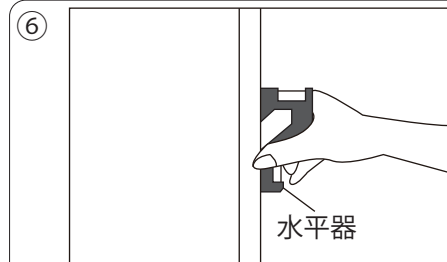
2 本目の仮止め作業を行う前に、ポール側プレートを使用して取付け時にネジ穴の位置が左右対称になるように間隔を調整してください。

特に設置場所の制限などの理由がない限り、ポール側プレートの両端付近のネジ穴を使用してください。

ある程度正確な位置が確認できたら、目印を付けます。

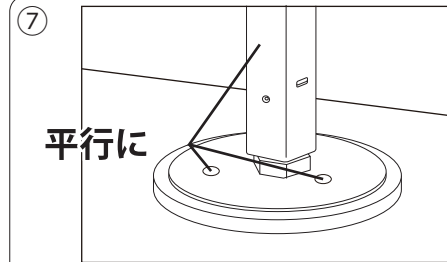


④で付けた目印の場所でポールを上へ伸ばし、軽くバネが縮む程度に仮止めをします。あまり強く取付けない様注意してください。



つっぱり棒の仮止めを行った後、ボール側プレートを使用して 2 本の間隔を確認しながら水平をとってください。図の様に水平器があると便利です。

つっぱり棒には伸縮防止機能がついていますが、ボール (大) 部分を持つとボールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節する際は必ずボール (小) の部分を持って移動するようにしてください。

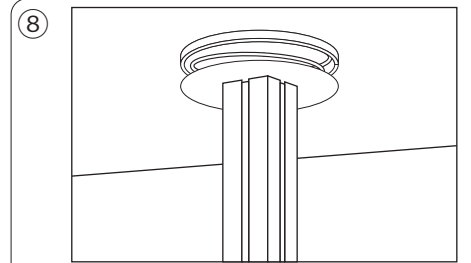


水平がとれたら、つっぱり棒の面と床受盤の穴 2 点が平行になるように調節して下さい。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりととはまらない場合がございます。

※1 本目、2 本目とも同じ方向 (正面) にアタッチメント取付け面が向くようにしてください。

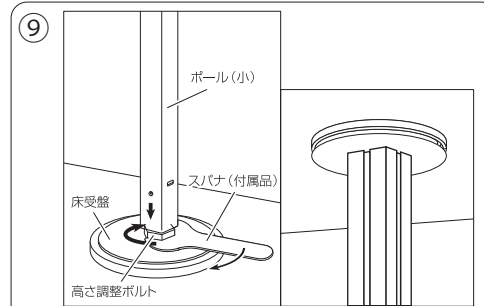
このページはエアースペーサーを使用しない取付け設置方法です。エアースペーサーを使用して取付けを行う場合は次ページに記載している手順で設置を行ってください。

下記ページよりテレビ取付け金具の設置方法が記載されています。
角度固定Lサイズは6ページ～ 下向角度Lサイズは8ページ～



項目⑥までに行った作業をもう一度確認し、2 本の間隔に関しても問題が無ければ 2 本目も設置します。上図の様に少しバネが見える程度まで天井に押しつけてください。

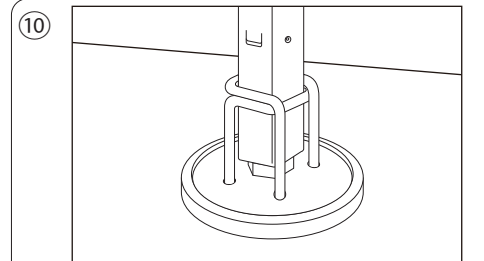
⚠ 必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。



十分に押し込んだら、スパナで高さ調節ボルトを回して固定して下さい。左回りでポールが上に伸びます。右図の様にバネがほとんど見えなくなったら固定されています。

※回し過ぎに注意して下さい。天井や床が破損する場合があります。

※取付け後は手で軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。



回転止めを取り付けてポールが回転するのを防ぎます。最後に、2 本とも固定されていることを確認してください。
※6 ページ目の『回転止めの使用方法』をご参考下さい。

エアースペーサーを使用したポール設置方法

⚠ 注意

作業を行う前に、エアースペーサーを付けない状態で位置の調節など確認作業を行ってください。エアークャップが天井にしっかりと刺さってしまうと移動や調整が困難になります。

この『エアースペーサーを使用したポール設置方法（2本の場合）』は、3ページ目『エアースペーサーを使用したポール設置方法（1本の場合）』参考にする箇所があります。本ページと3ページ目及び2ページ目をご留意いた上で設置作業を行って下さい。

⚠ 警告 エアースペーサーの天井受盤に取り付けるキャップは鋭利な部分がございます。取扱いには十分ご注意ください。

⚠ 警告 エアースペーサーを使用して設置を行う場合には、周りに注意し、特に小さいお子様には触れさせない様にしてください。怪我をする恐れがあります。

⚠ エアースペーサーを使用する場合でも、場所によっては天井が浮いたり、破損する恐れがありますので、十分に注意し取付けをしてください。

! 取付けは、必ず垂直になるように固定して下さい。

! 取付け手順はしっかりと守ってください。人や物にぶつからない様、周りには十分に注意して取付け作業を行ってください。

● 使用部品（2本分）

部品名	記載番号	イラスト	入数
エアースペーサー エアークャップ 特殊面ファスナー			2 セット
高さ調節ボルト 目安テープ			4 枚
アタッチメント	aa		2 個
コマ	bb		4 個
アタッチメント 取付用皿ネジ	cc		4 個
スパナ			2 個
回転止め			4 個

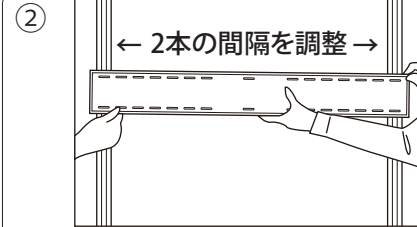
特殊面ファスナーはポール1本に対して1組の予備があります。

● 2本の間隔を確認する際に使用

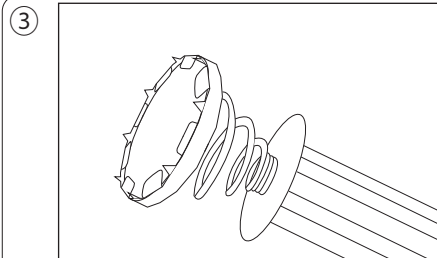
部品名	記載番号	イラスト
141 or 148 ポール側プレート	a	

① 2本目の設置作業

P2の①～③の手順で2本目を組み立てます。

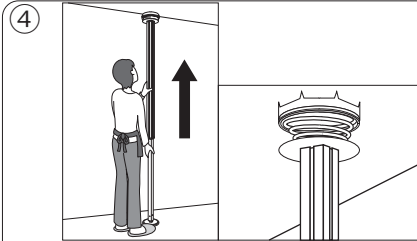


2本目の仮止め作業を行う前に、ポール側プレートを使用して取付け時にネジ穴の位置が左右対称になるように間隔を調整してください。特に設置場所の制限などの理由がない限り、ポール側プレートの両端付近のネジ穴を使用してください。ある程度正確な位置が確認できたら、目印を付けます。



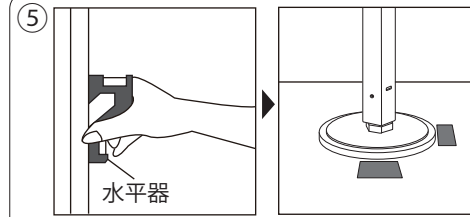
仮止めを行う前に、エアークャップを天井受盤に取り付けます。奥までしっかりとめてください。

⚠ 注意 エアークャップは表面に鋭利な部分がありますので、取付け時は十分に注意して下さい。エアークャップを取り付けたまま、移動や長さ調節をする際は周りに人がいないか確認を忘れないでください。



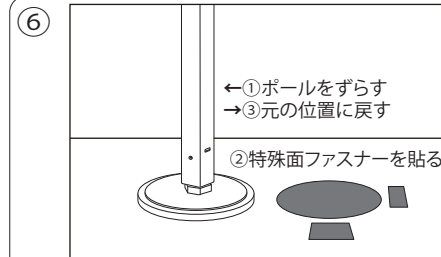
取付けを行いたい場所を決め、ポールを上へ伸ばして仮止めをします。その際、天井受盤のエアークャップの先端が少し刺さる程度の仮止めにして下さい。深く差し過ぎるとエアークャップが固定され、位置の調整が困難になります。

⚠ 注意 エアークャップが天井に取り付いてしまった場合、天井から外して再度天井受盤に取付けを行って下さい。

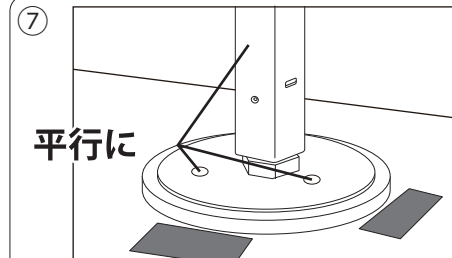


仮止めを行った後、全体を確認しながら水平をとってください。図の様に水平器があると便利です。水平が取れたら特殊面ファスナーの受け側を床に張り付ける為、水平位置にテープ等で目印を付けて下さい。

⚠ 注意 つっぱり棒には伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節する際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



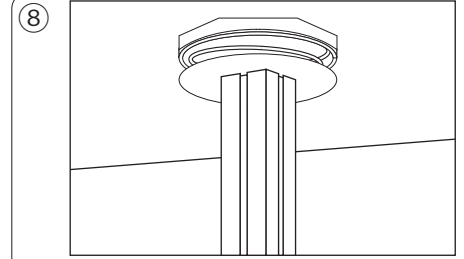
ポールの下部を少しずらし、目印を付けた場所に特殊面ファスナーの受け側（円が大きい方）を張り付けます。張り付けたらポールを元の位置に戻してください。天井受盤部がずれない様に注意して下さい。



つっぱり棒の面と床受盤の穴2点が平行になるように調節して下さい。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりとまはらない場合がございます。

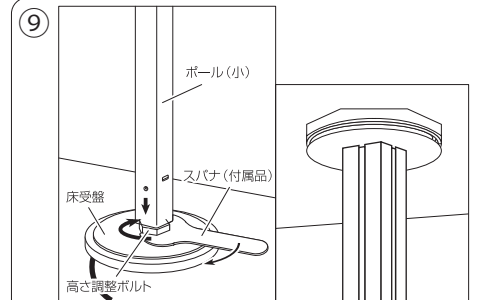
※1本目、2本目とも同じ方向（正面）にアタッチメント取付け面が向くようにしてください。

下記ページよりテレビ取付け金具の設置方法が記載されています。
角度固定Lサイズは6ページ～ 下向角度Lサイズは8ページ～

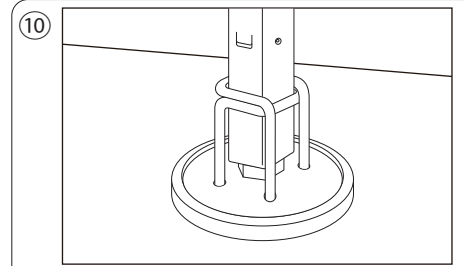


項目⑥までに行った作業をもう一度確認し、問題が無ければしっかりと固定します。上図の様に少しバネが見える程度まで天井に押しつけてください。

⚠ 注意 必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。



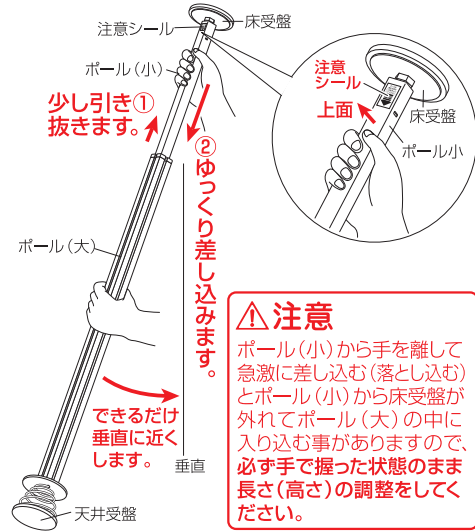
十分に押し込んだら、スパナで高さ調節ボルトを回して固定して下さい。左回りでボールが上に伸びます。右図の様にバネがほとんど見えなくなったら固定されています。※回し過ぎに注意して下さい。天井や床が破損する場合があります。※取付け後は手で軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。



回転止めを取り付けてポールが回転するのを防ぎます。最後に、2本とも固定されていることを確認してください。※4ページ目の『回転止めの使用方法』をご参考下さい。

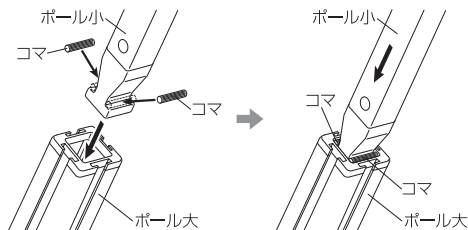
ポールを伸ばし過ぎた場合

ポール（大）の天井受盤側を下にさげ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面向け、
①ポール（小）を手で握り軽く引き抜く（出す）と内部ロックが解除されますので、
②手で握ったままゆっくりと差し込んで（短くして）下さい。差し込むスピードが速いとロックがかかってしまいます。その場合は①をもう一度行ってください。止まってしまう場合はつっぱり棒をできるだけ垂直になるようにして（上下が逆の状態）、①②を何度か繰り返して下さい。



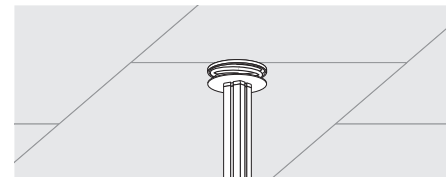
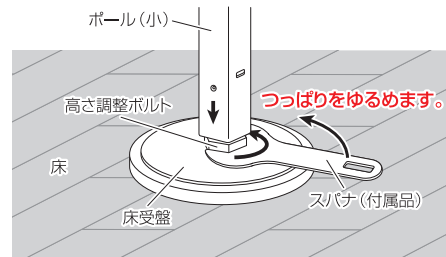
ポールが外れてしまった場合

ポール（大）の天井受盤側をできるだけ下に下げて（垂直に近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込み、ポール（小）の先端近くに抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んで下さい。なお、途中で止まった場合は、上部の『ポールを伸ばし過ぎた場合』を参考に作業を行ってください。



本体を外す場合

本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品のスパナで右に回してつっぱりを緩めてください。その後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。

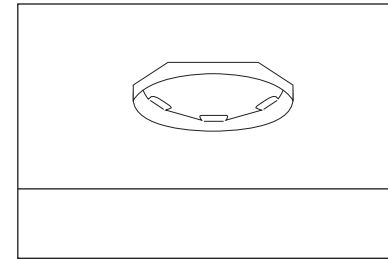


本体を外す場合 (エアースペーサー使用時)

基本的な取り外し方法は左記『本体を外す場合』と同じ手順となります。

本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品のスパナで右に回してつっぱりを緩めて下さい。その後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外して下さい。

浮かす際に、特殊面ファスナーの床受盤裏側と床側をしっかりと離して下さい。

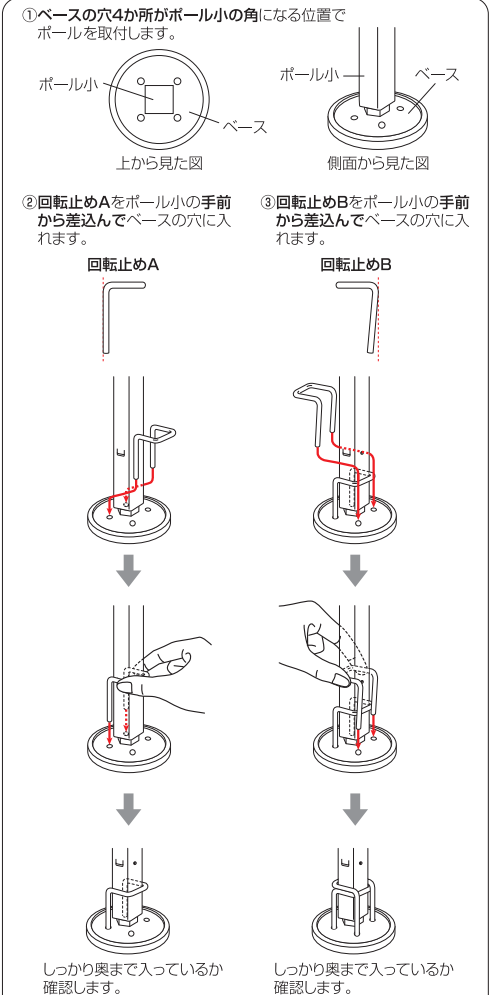


ずらしてポールを外す際、エアーキャップが天井受盤から離れ天井に取り付いたまま取れない場合があります。その場合はエアーキャップのみ天井から取り外して下さい。取り外す作業時、安全面には十分注意して作業を行ってください。

エアースペーサーを使用しない場合は梱包されていた箱に保管しておいて下さい。梱包時にエアーキャップの鋭利部に付いていた段ボールは捨てずに、保管する際また取付けておいて下さい。

回転止めの使用方法

この部品は回転防止部品となります。回転をしない様につっぱり棒を設置後、取付けを行って下さい。



※この付属品は、製品本体の回転を抑えるものであって完全に回転は止められませんので、ご注意ください。

取付け対応商品：AP-141, AP-148

テレビ取付け金具設置に関して

お取り付け頂く金具によって設置手順・方法が異なります。
必ずお取り付けを予定している金具のページをご参考下さい。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷を負う恐れがある内容を示します。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が怪我をしたり家屋や家財などに損害を受ける恐れがある内容を示します。

! 十分に注意する内容を示します。 **!** 必ず指示に従って行う内容を示します。

⊘ 絶対にしてはいけない内容を示します。

警告 つっぱり棒の耐荷重とは別にテレビ取付け金具毎に耐荷重があります。耐荷重を超えるテレビを取り付けたり、故意に強い衝撃を与えないでください。テレビ取付け金具が外れ、破損や怪我をする恐れがあります。

! アタッチメント及びテレビ取付け金具を取り付ける際には、しっかりとボルト等の締め付けを行って下さい。締め付けが緩い場合に、アタッチメントやテレビ取付け金具が落下し、破損や怪我をする恐れがあります。

! 各テレビ取付け金具には、取付け可能なテレビの条件があります。必ずお取り付け予定のテレビ取付け金具の対応テレビ条件をご確認ください。それ以外のテレビでは設置が出来ません。

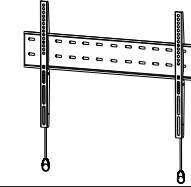
! 付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意下さい。また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせ下さい。

⊘ テレビを取り付けたままつっぱり棒の移動・取り外しは行わないで下さい。必ず最初にテレビをテレビ取付け金具から取り外し、ポール側プレートをアタッチメントから取り外した後につっぱり棒の移動・取り外しを行って下さい。

⊘ 商品の分解・改造及び部品の改造は絶対にしないでください。

上記に関しての問題が生じた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。お客様ご自身で安全面等判断し、十分に注意したうえでご利用願います。

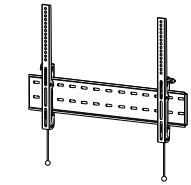
角度固定 L サイズ テレビ取付け金具（2 本で設置）



テレビのインチ数目安：37～65 インチ
テレビ重量：40kg まで
取付け可能なテレビ背面のネジ穴間隔：
横：200mm～760mm の寸法内
縦：200mm～400mm の寸法内
金具薄さ：23mm
角度調節：固定

P6, P7 ⇒

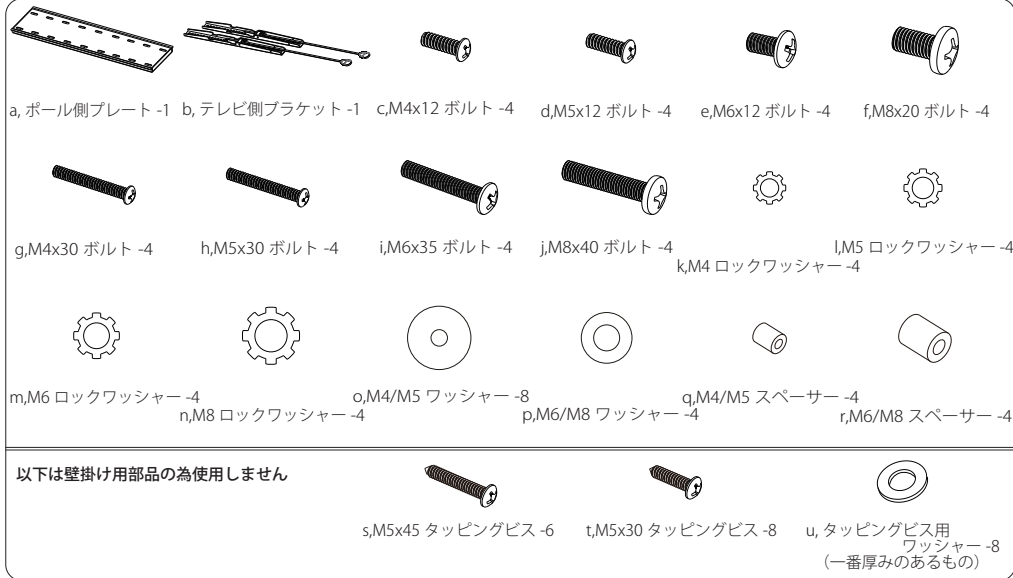
下向角度 L サイズ テレビ取付け金具（2 本で設置）



テレビのインチ数目安：37～65 インチ
テレビ重量：40kg まで
取付け可能なテレビ背面のネジ穴間隔：
横：200mm～760mm の寸法内
縦：200mm～400mm の寸法内
金具薄さ：36mm
角度調節：下向き角度調整

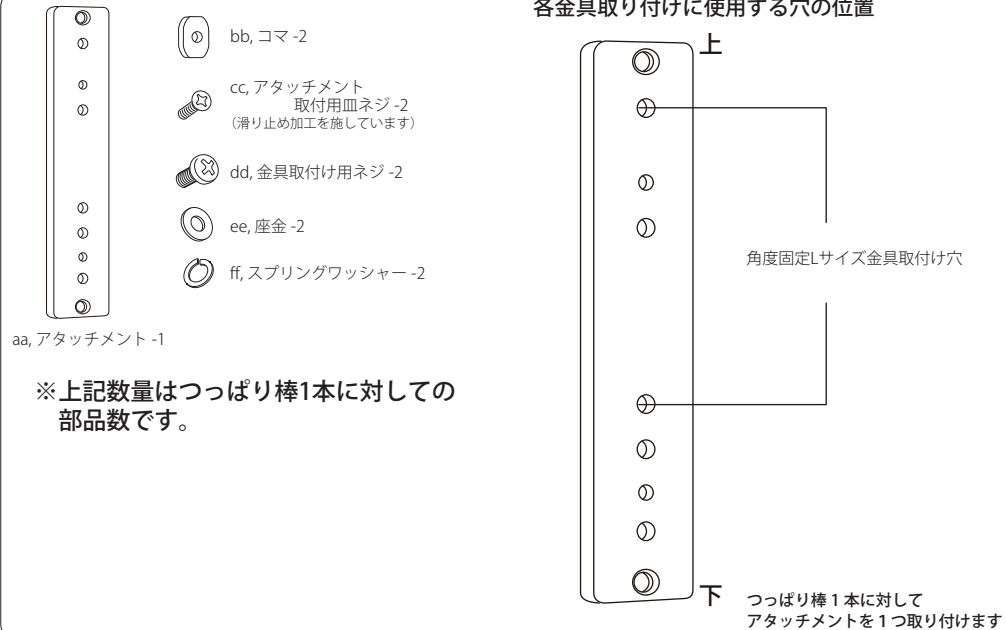
P8, P9 ⇒

角度固定Lサイズ テレビ取付け金具 取付け設置方法



! ご購入頂いたテレビ金具によって付属している部品が異なります。必ずご購入金具と上記部品一覧を確認してください。付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意ください。また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせください。

各金具取り付けに使用する穴の位置



つっぱり棒の耐荷重とは別に、**金具本体の耐荷重**があります。必ず**記載のテレビ重量以下のテレビ**をご使用ください。重量を超えるとテレビやつっぱり棒が破損する恐れがございます。



径や深さの合わないボルトでの取付けは行わないでください。テレビが破損したり落下する原因となります。

テレビのインチ数目安： 37～65 インチ

テレビ重量： 40kg まで

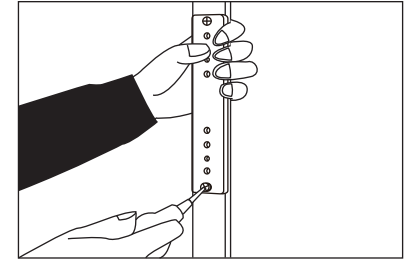
取付け可能なテレビ背面のネジ穴間隔：

横： 200mm ～ 760mm の寸法内

縦： 200mm ～ 400mm の寸法内

金具薄さ： 23mm

アタッチメントの固定

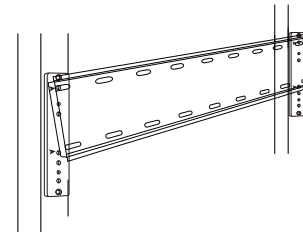
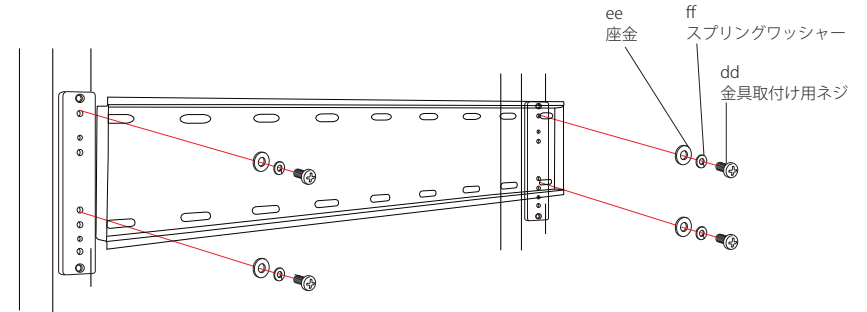


ポール設置時に仮止めしたアタッチメントを、テレビを取り付けたい位置に調整し、2点ともしっかりと締め付け固定して下さい。その際 2 つのアタッチメントの高さが同じになるようポール側プレートや水平器等で調節して下さい。あらかじめメジャーで高さを合わせておくと簡単です。

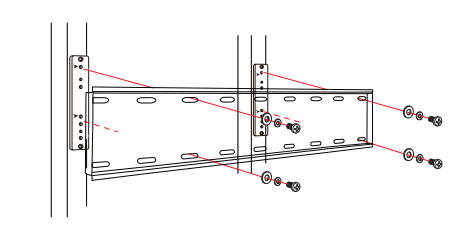
アタッチメントにポール側プレートを固定します。

下図を参考に、アタッチメントとポール側プレート a を取り付けます。アタッチメント側の取付ける穴を間違えないよう注意し、取り付け穴 4 点の位置を確認してください。この時、取り付けるポール側プレート a のネジ穴は左右対象のネジ穴を使用してください。

取付けを行う際に、アタッチメントがしっかりと取付けされているかどうか再度確認してください。



2 つのアタッチメントの高さが合わない状態で無理に取り付けを行わないでください。金具やテレビの破損の原因となります。



取付けるネジ穴は左右対称の位置を使用して下さい。金具やテレビの落下の危険があり、破損の原因になります。

角度固定Lサイズ テレビ取付け金具 取付け設置方法 (続き)

テレビにテレビ側マウントを取り付けます。

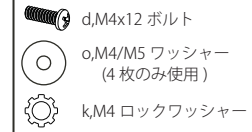
下図を参考にテレビにテレビ側ブラケット b を取り付けてください。テレビのネジ穴にテレビ側ブラケット b の取付け穴を合わせ、それぞれ適切なボルト・ワッシャーでしっかりと固定して下さい。
テレビの段差や配線などで取付けに干渉してしまう場合等は、『●段差がある場合や配線に干渉する場合 (スペーサーを使用)』の項目を参考にスペーサーを使用して取り付けを行ってください。



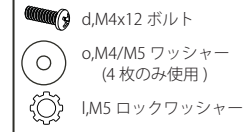
付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意ください。また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせください。

●背面がフラットの場合

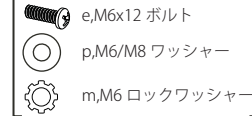
テレビのネジ穴径が M4 の場合



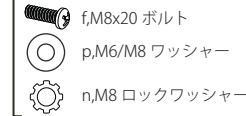
テレビのネジ穴径が M5 の場合



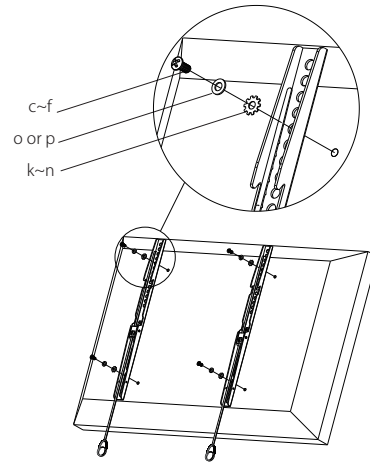
テレビのネジ穴径が M6 の場合



テレビのネジ穴径が M8 の場合



※上記以外の径や長さの場合は別途適切なボルト類をご用意ください。
※右図を参考に 4 か所しっかりと取り付けてください。



●段差がある場合や配線に干渉する場合 (スペーサーを使用)

テレビのネジ穴径が M4 の場合



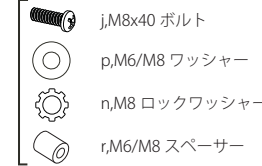
テレビのネジ穴径が M5 の場合



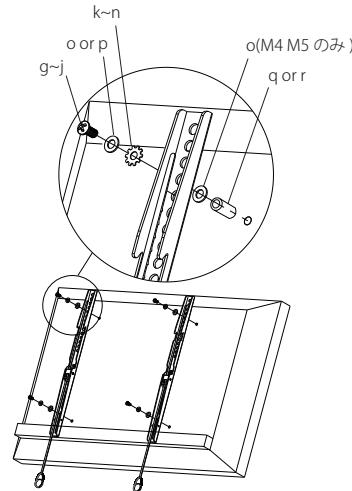
テレビのネジ穴径が M6 の場合



テレビのネジ穴径が M8 の場合



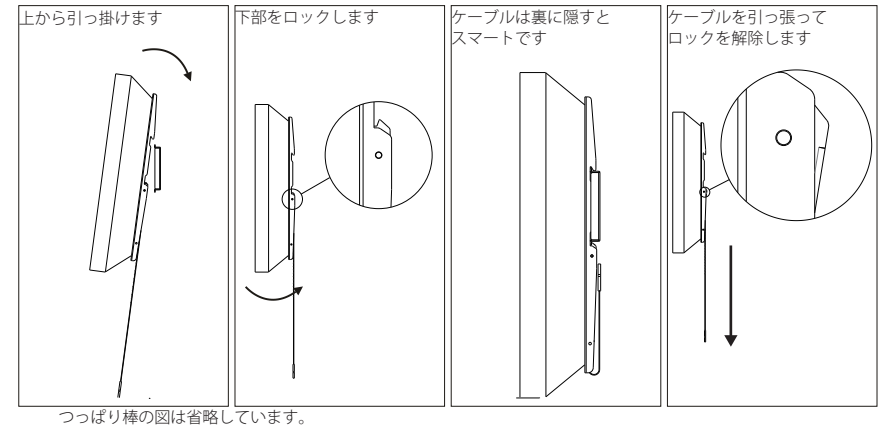
※上記以外の径や長さの場合は別途適切なボルト類をご用意ください。
※右図を参考に 4 か所しっかりと取り付けてください。



ポール側プレートにテレビ側ブラケットを上から引っ掛け、下部をロックする

ポール側プレート a の上の部分にテレビ側ブラケット b を引っ掛けます。しっかりと引っ掛けている事が確認できたら、下部をロックします。その際テレビの重みで「カチッ」というロック音が聞こえればロックされていますが、ならない場合は少しテレビの下の方を押してロックして下さい。もしそれでもロックがかからなければ軽く下のケーブルを引っ張ってロックをかけて下さい。

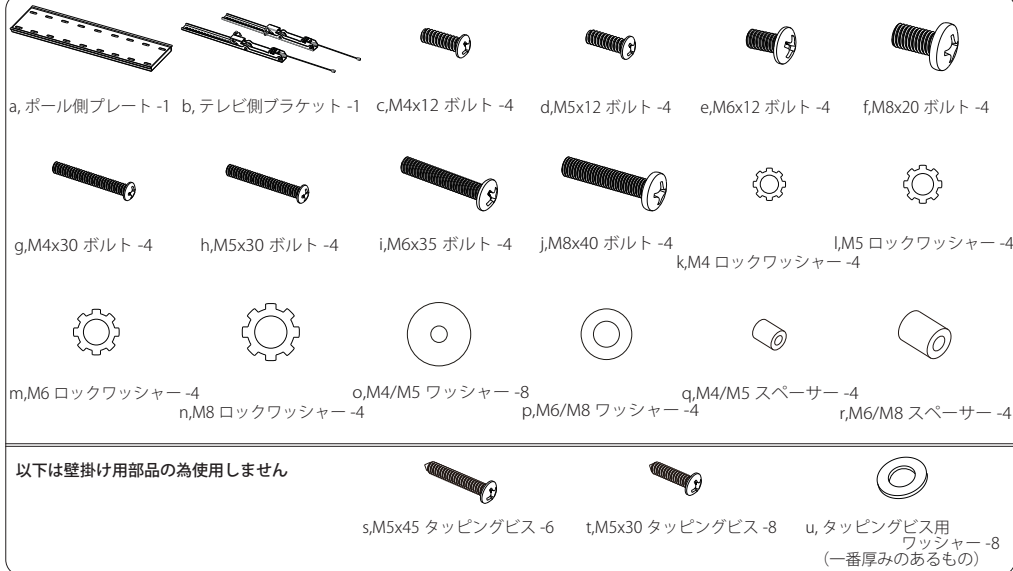
外す場合には下のケーブルを引っ張ればロック部が外れるので、ケーブルを引っ張りながらテレビを下から外してください。また、ロック解除後はロック部の金具が外れた状態になっていますので、ロックの金具部分を押しして通常の状態に戻してください。



つっぱり棒の図は省略しています。

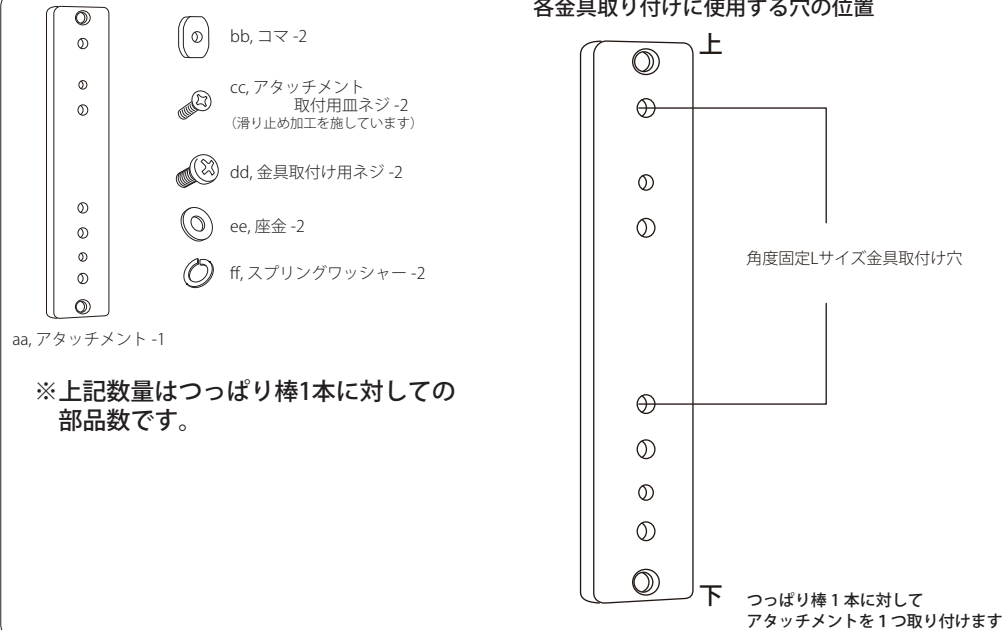
設置した際に、つっぱり棒が不安定になったりテレビがぐらつく、アタッチメントがずれ落ちる等の症状が出た場合、一度テレビを外し本説明書の項目を最初から確認して各部がしっかりと固定されているかどうか確認してください。
使用時にすこしでもガタや違和感があった場合は取付けを中止して下さい。
半年に 1 回程度は必ずボルトの緩みやつっぱり棒の点検を行ってください。

下向角度Lサイズ テレビ取付け金具 取付け設置方法



ご購入頂いたテレビ金具によって付属している部品が異なります。必ずご購入金具と上記部品一覧を確認してください。付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意ください。また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせください。

各金具取り付けに使用する穴の位置



つっぱり棒の耐荷重とは別に、**金具本体の耐荷重**があります。必ず**記載のテレビ重量以下のテレビ**をご使用ください。重量を超えるとテレビやつっぱり棒が破損する恐れがございます。



径や深さの合わないボルトでの取付けは行わないでください。テレビが破損したり落下する原因となります。

テレビのインチ数目安： 37～65 インチ

テレビ重量：40kg まで

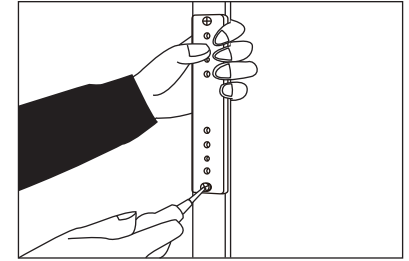
取付け可能なテレビ背面のネジ穴間隔：

横：200mm ～ 760mm の寸法内

縦：200mm ～ 400mm の寸法内

金具薄さ：23mm

アタッチメントの固定

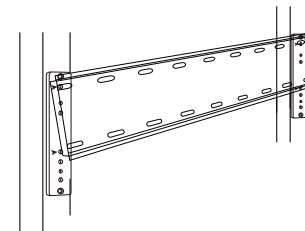
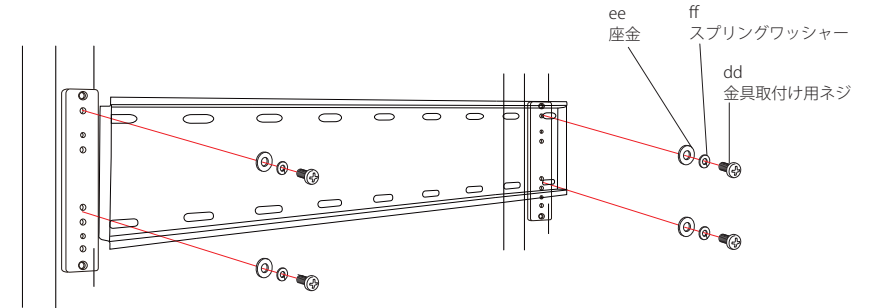


ポール設置時に仮止めしたアタッチメントを、テレビを取り付けたい位置に調整し、2点ともしっかりと締め付け固定して下さい。その際 2 つのアタッチメントの高さが同じになるようポール側プレートや水平器等で調節して下さい。あらかじめメジャーで高さを合わせておくと簡単です。

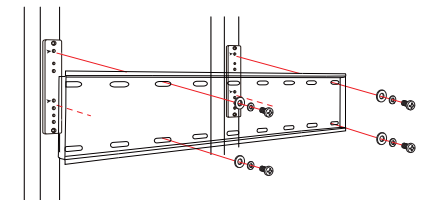
アタッチメントにポール側プレートを固定します。

下図を参考に、アタッチメントとポール側プレート a を取り付けます。アタッチメント側の取付ける穴を間違えないよう注意し、取り付け穴 4 点の位置を確認してください。この時、取り付けるポール側プレート a のネジ穴は左右対象のネジ穴を使用してください。

取付けを行う際に、アタッチメントがしっかりと取付けされているかどうか再度確認してください。



2 つのアタッチメントの高さが合わない状態で無理に取り付けを行わないでください。金具やテレビの破損の原因となります。



取付けるネジ穴は左右対称の位置を使用して下さい。金具やテレビの落下の危険があり、破損の原因になります。

下向角度Lサイズ テレビ取付け金具 取付け設置方法 (続き)

テレビにテレビ側マウントを取り付けます。

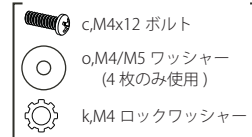
下図を参考にテレビにテレビ側ブラケットを取り付けてください。テレビのネジ穴にテレビ側ブラケットの取付け穴を合わせ、それぞれ適切なボルト・ワッシャーでしっかりと固定して下さい。
テレビの段差や配線などで取付けに干渉してしまう場合等は、『●段差がある場合や配線に干渉する場合 (スペーサーを使用)』の項目を参考にスペーサーを使用して取り付けを行ってください。



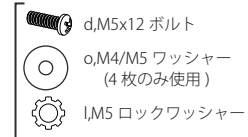
付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意ください。また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせください。

●背面がフラットの場合

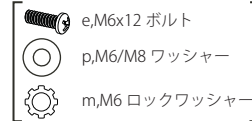
テレビのネジ穴径が M4 の場合



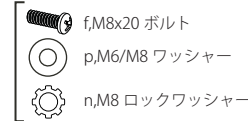
テレビのネジ穴径が M5 の場合



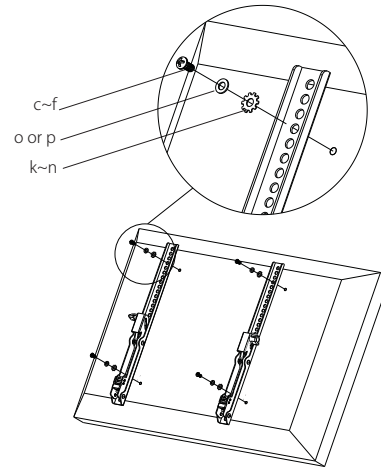
テレビのネジ穴径が M6 の場合



テレビのネジ穴径が M8 の場合



※上記以外の径や長さの場合は別途適切なボルト類をご用意ください。
※右図を参考に 4 か所しっかりと取り付けてください。



●段差がある場合や配線に干渉する場合 (スペーサーを使用)

テレビのネジ穴径が M4 の場合



テレビのネジ穴径が M5 の場合



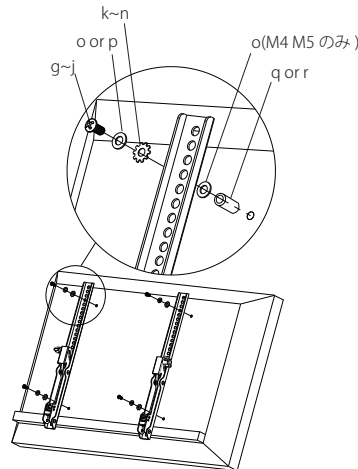
テレビのネジ穴径が M6 の場合



テレビのネジ穴径が M8 の場合



※上記以外の径や長さの場合は別途適切なボルト類をご用意ください。
※右図を参考に 4 か所しっかりと取り付けてください。

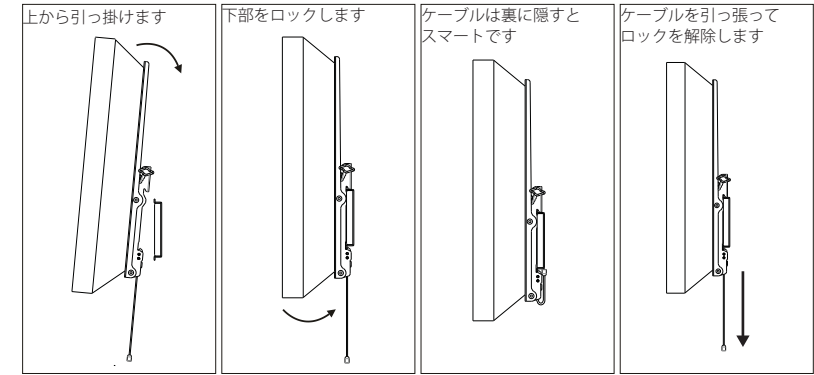


ポール側プレートにテレビ側ブラケットを上から引っ掛け、下部をロックする

ポール側プレート a の上の部分にテレビ側ブラケット b を引っ掛けます。しっかりと引っ掛けている事が確認できたら、下部をロックします。その際テレビの重みで「カチッ」というロック音が聞こえればロックされていますが、ならない場合は少しテレビの下の方を押してロックして下さい。もしそれでもロックがかからなければ軽く下のケーブルを引っ張ってロックをかけて下さい。

外す場合には下のケーブルを引っ張ればロック部が外れるので、ケーブルを引っ張りながらテレビを下から外してください。また、ロック解除後はロック部の金具が外れた状態になっていますので、ロックの金具部分を押しで通常の状態に戻してください。角度は 0 度・5 度・10 度・12 度・15 度の 5 段階で下向き調節が可能となっております。右のノブで調節してください。

取付け・取り外しを行う際は、怪我をしない様十分に注意し、また落下の危険を防ぐ為に 2 人以上で作業を行ってください。



つっぱり棒の図は省略しています。

設置した際に、つっぱり棒が不安定になったりテレビがぐらつく、アタッチメントがずれ落ちる等の症状が出た場合、一度テレビを外し本説明書の項目を最初から確認して各部がしっかりと固定されているかどうか確認してください。
使用時にすこしでもガタや違和感があった場合は取付けを中止して下さい。
半年に 1 回程度は必ずボルトの緩みやつっぱり棒の点検を行ってください。